

## その子にちょうどいい4規格



(動物用医薬品) (指定) (要指示) 犬用慢性心不全改善剤

## ユーザーインタビュー Vol.1

### 「dsピモハート®錠0.625mgの使用により、 処方設計の自由度が向上しました！」

dsピモハート®錠の臨床現場での印象について、インタビューを実施しました。



舞鶴動物医療センター様



院長 真下忠久先生

### Q1 dsピモハート®錠の印象について教えてください

**A** dsピモハート®錠は、飼い主様からも扱いやすい大きさだと感じていただけているように思います。さらに、慢性疾患に用いる薬であるため、ジェネリック医薬品によるコストダウンは治療コンプライアンスの面で重要だと考えています。

### Q2 貴院で0.625mg錠を使い始めたきっかけについて教えてください

**A** 当院では、飼い主様には基本的にシートのまま処方し、必要に応じて自宅で薬を割っていただいています。投与量は0.25~0.35mg/kgとなるよう調整しているため、1.25mg錠を3/4錠にする処方が頻繁にありました。しかしこのような処方では、飼い主様の投薬管理が煩雑になる傾向があります。そこで、dsピモハート®錠を使うことにより、1.25mg錠を半錠、0.625mg錠を半錠といった組み合わせが可能になり、投薬コンプライアンスが向上したと感じています。また、当院では超小型犬種に処方することが多いため、0.625mg錠は特に活躍している印象です。

### Q3 心臓薬の処方方法について教えてください

**A** 診察を効率よく行うため、当院では可能な限りシートのまま処方する方針です。またシート処方により、飼い主様が処方内容を視覚的に把握できることが安心につながると考えています。

### Q4 dsピモハート®錠の飼い主様への投薬指導について教えてください

**A** dsピモハート®錠の投与に関して、飼い主様が苦労されているという話をあまり聞かないため、特別な指導は行っていないのが現状です。また、dsピモハート®錠は非フレーバー錠ですが、嗜好性が良い印象であり、アレルギーのリスクが低いことも安心と考えています。

## 病院スタッフさんからのコメント

dsピモハート®錠は、規格ごとにシートの色が異なるため、用量の識別に色の違いを活用できています。  
また、薬が小さすぎると犬の口から出てきてしまうことがあるのですが、dsピモハート®錠は院内でも投薬しやすいサイズだと感じています。

## 物産アニマルヘルスのおもいやり

### 識別しやすい色分け

規格ごとにPTPシートの色が異なるため、一目で識別しやすく、日々の調剤がよりスムーズに行えます。

### 毎日の服薬をサポート

素錠ですがほんのり甘く、アレルギーや嗜好性に不安のあるワンちゃんへの継続をサポートします。

### そのまま使える便利さ

小型犬から大型犬まで対応できるラインナップ。分割不要で、スムーズな投薬をサポートします。

01

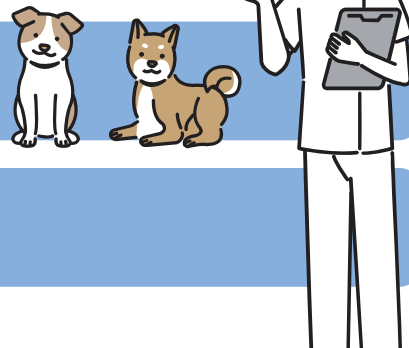
小型犬から大型犬まで4つの規格でカバーできます

02

さじ加減の用量調整ができます

03

小さいサイズで飲ませやすい剤形です



#### 【用法及び用量】

体重 1 kg 当たりピモペンダンとして 0.25mg を 1 回量とし、1 日 2 回、朝夕おおよそ 12 時間間隔で経口投与する。

dsピモハート錠	0.625mg	1.25mg	2.5mg	5mg
体重	●	●	●	●
犬：1日2回投与時の、1回当たりの投与目安量				
2.0kg以上～3.6kg未満	●	—	—	—
3.6kg以上～6.6kg未満	—	●	—	—
6.6kg以上～8.6kg未満	●	●	—	—
8.6kg以上～12.0kg未満	—	—	●	—
12.0kg以上～14.0kg未満	●	—	●	—
14.0kg以上～17.0kg未満	—	●	●	—
17.0kg以上～19.0kg未満	●	●	●	—
19.0kg以上～23.0kg未満	—	—	—	●

上記は目安であり、例えば、1.25mg 1錠は0.625mg 2錠、2.5mg 1錠は0.625mg 錠 4錠又は1.25mg 2錠、5mg 錠 1錠は0.625mg 錠 8錠、1.25mg 錠 4錠又は2.5mg 錠 2錠で代用できる。